



図書館だより 2月号



2026年2月発行 江南市立西部中学校 図書館司書 木本規志子

テレビから豪雪のニュースが流れています。外に出ると、あまりに冷たい風に両手で顔を包みます。部屋の中では、窓際の暖かい日差しに両手をかざします。手の温もりは、言葉以上に心に直接届き、安心感や愛情を伝えてくれます。さて、春を待つ皆さんのこぶしは、どんな決意や思いで温もりがふくらんでいるでしょうか。

2月4日は立春です。豆まきして、邪気を払い、春を待ちましょう。寒さが厳しいこの時期、身体も心も冷やさぬように温めてください。図書館ではホッと心を温める本を用意しています。



『ぐっとくるまんがのセリフ101』
あさの あつこ/監修



『おんぶにだっこ』
さくら ももこ/著
自分の小さな頃って覚えていますか？この小説を読んで思い出してみてください。



『ツバキ文具店』
小川 糸/著
伝えられなかった大切な人への思い。あなたに代わって届けてくれる文具店。鎌倉に行きたくくなります。



『生き方がラクになる「ハイキュー!!」の言葉』
内田 若希・河津 慶太/著
あのハイキュー!!の名セリフがあなたを勇気づけてくれます。

(出版社内容紹介より)



『受験生の心の休ませ方』
加藤 諦三/著



図書館からの大切なお知らせ

★年度末の貸出と返却について

- ◎ 3年生 貸出は**2月13日(金)**まで 最終返却日は**2月27日(金)**
- ◎ 1・2年生 貸出は**3月4日(水)**まで 最終返却日は**3月16日(月)**

★読書月間

- ◎ **1月26日(月)~2月13日(金)**

昼活の時間に読む本を図書館に借りに来てください。

・図書館の本を一人3冊まで借りられます。
・ポイントが2倍になります。



芥川 龍之介

第174回 芥川賞・直木賞



直木三十五

日本で最も有名な文学賞。発表は夏と冬の1年に2回です。
前回の夏は27年ぶりに両賞とも該当なしてした。

今回の受賞作

芥川賞

『時の家』 鳥山 まこと／著

家が建つところから解体されるまで、その家に住んでいた、訪れた四人の人間の記憶、意識が、まるで「その家」が語り手であるかのように描かれた作品。



芥川賞

『叫び』 畠山 丑雄／著

主人公の早野は「先生」に打ちのめされ、銅鐸と茨木の歴史を学び始める。茨木の隠された歴史を組み込みながら、昭和と令和がリンクしていく物語。



直木賞

『カフェーの帰り道』 嶋津 輝／著

東京・上野のカフェーで女給として働いた、“百年前のわたしたちの物語”。強くておやかに生きる女性たちが健気で、愛おしい作品。



(出版社内容紹介より)

西中にあるこれまでの芥川賞作品



「冥土めぐり」
鹿島田真希/著



「火花」
又吉直樹/著



「蹴りたい
背中」
綿矢りさ/著



「コンビニ人間」
村田沙耶香/著



「下町ロケット」
池井戸潤/著



「塞王の楯」
今村翔吾/著



「サラバ!」
西加奈子/著



「鍵のない
夢を見る」
辻村深月/著

(受賞作品はこの他にも蔵書してます。)



『クスノキの番人』 東野圭吾／著

1月30日アニメ公開。「あなたにして
もらいたいこと、それはクスノキの番人
です。」と恩人から依頼された玲斗。
クスノキの番人とは???



『黒牢城』 米澤穂信／著

本能寺の変の4年前、有岡城に籠った
荒木村重が土牢の囚人にして織田
方の智将・黒田官兵衛に翻弄される
話。歴史小説がミステリーな謎解きに!

